

HOOT

ホー

No. 105

2021 ねん 9 月号

としょかんカレンダー



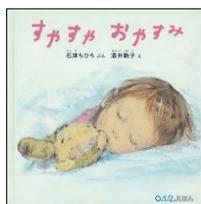
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

はやすみ

こんげつ もよお
今月の催し

<p>ととけっこおはなし会 0～3さいむけ 絵本と手あそびのおはなし会</p>	<p>9月 10日 (金) ・ 26日 (日) 11:00～11:20 【3F 視聴覚ホール】 うんどうがテーマのおはなし</p>
<p>まめまめわらべうたの会 あかちゃんといっしょに きせつのわらべうたであそびましょう</p> 	<p>9月 18日 (土) 11:00～11:20 【3F 視聴覚ホール】 おつきさまのわらべうた</p>
<p>としょかんおはなし会 えほんと手あそびのおはなし会</p>	<p>9月 25日 (土) 11:00～11:30 【3F 視聴覚ホール】</p>
<p>としょかんおはなし会ミニミニ えほんと手あそびの短いおはなし会</p>	<p>9月 5日 (日) ・ 12日 (日) 19日 (日) 14:30～14:50 【3F 視聴覚ホール】</p>
<p>子ども映画会</p>	<p>9月11日 (土) 10:30～11:45 ※予約制 (各回10家族) 【3F 視聴覚ホール】 「あらしのよるに2」(3～5話) (75分)</p>
<p>開館40周年記念 としょかんまつり 「かぼちゃまつりスペシャル」</p>	<p>10月 31日 (日) 10:00～ なくなり次第終了 5冊以上本をかりた小学6年生以下の人は 「かぼちゃくじ」をひくことができます くじでハロウィンのおりがみが当たります!</p> 

[やさしいえほん]



「すやすやおやすみ」

石津ちひろ ぶん 酒井駒子 え

福音館書店 (やさしい E20ス)

ひらひらとんでる、ちょうちょさん。
みやあみやあないてる、こねこさん。
りんごも、おもちゃも、みんなみんな
すやすやおやすみ…。

[えほん]



「街どろぼう」

junaida 著 福音館書店 (E20マ)

くに おお やま
とおい国の大きな山のでっぺんに
きょじん
ひとりの巨人がくらしていました。
ひとりでさびしくなった巨人は、
よる やま まち
その夜、山のふもととの街から
いえ
こっそり家をもちかえってきて…。



「ジェシカといっしょ」

ベン・ハクス 作・絵 小風さち 訳

徳間書店 (E24シ)

ルーシーは、何をするのもジェシカと
いっしょ。おとうさんとおかあさんは
ジェシカなんて子はうちにはいない、
というけれど…？



「子どもの本で平和をつくる」

ーイエラ・レップマンの目ざしたことー

キャー・スティンツ文 マリー・ラファス絵 さくまゆみこ 訳

小学館 (E22コ)

せんご
戦後、アンネリーゼは弟の手を引いて、大きなたてものに
はい
入ってみました。そこには、かぞえきれないほどの本が
つぎ ひ おんなひと こ
ならんでいました。次の日、女の人が子どもたちに本を
読んでくれて…。



「とわちゃんとシナイモツゴのトトくん」

田島征三 作 ひだまり舎 (E22ト)

ひ
ある日、にんげんの女の子、とわちゃんは池で
ぜつめつきぐしゅ
「絶滅危惧種」という、きちょうな小さな魚の
ちい さかな
シナイモツゴを見つけ、話しかけます。
いけ
池がうめたてられ、すむところを追われた
お
シナイモツゴは…。



「ぼくは川のように話す」

ジョーダン・スコット文 シドニー・スミス絵

原田勝 訳 偕成社 (E26ホ)

きつおん がっこう
吃音のため、学校でもうまくことばがでてこなくて
お どう
落ちこんでいたぼく。お父さんは、「うまくしゃべれない
ひ こえ かわ
日もあるさ」と声をかけ、川へつれていってくれて…。
きつおん しじん しょうねん ひ えが
吃音のある詩人の少年の日のできごとを描きます。

[ちしきえほん]



「すいめん」

高久至 写真・文

アリス館 (ちしき4 E28ス)

すいめん そら うみ きょうかいせん
水面とは、空と海の境界線。私たちがくらす空の世界
せかい
から魚たちがくらす海の世界へ水面をくぐりぬけると、
さかな すいめん
すべてがわかります。生きもののくらしとともに、
い
水辺のふしぎな世界を写真で紹介します。
しゃしん しょうかい

[にほんのものがたり]



「かげろうのむこうで 翔の四季 夏」
斉藤洋 作 いたうあつき 絵
偕成社 (K913サイ)

しょうがくせいしょう がっこう い じどうこうえん
小学生の翔は、学校に行くときちゅうにある児童公園で、
たかみや か いぬ
高宮さんというおじさんと、その飼犬トラウムに
であ まち あ いっしょ かえ ひ
出会います。町で会って一緒に帰っていたある日、
高宮さんは翔にたのみごとをします。それは、週に
二回、朝にトラウムを散歩させてほしいというもので…



「正吉とヤギ」
塩野米松 文 矢吹申彦 絵
福音館書店 (K913シオ)

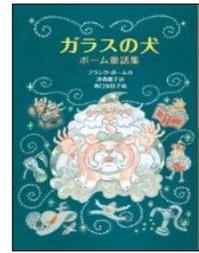
みなみちい しま しょうねんしょうきち
南の小さな島で、六歳の少年正吉は、おじいとおばあと
せんそう
くらしています。父さんと兄ちゃんは戦争へいき、
かあ おお しま はたら
母さんは大きな島へ働きにいっています。
そだ
ある日、正吉はおじいからヤギをもらい、育てることに
なっ…？

[がいこくのものがたり]



「わたしは夢を見つづける」
ジャクリン・ウッドツ 作 さくまゆみこ 訳
小学館 (K931ウツ)

かつしよくはだ くる かみ も う
褐色の肌と黒い髪を持って、オハイオで生まれた
ちち はは わか はは
ジャクリーン。父と母が別れたことで、母のふるさとの
サウスカロライナでくらすことになります。ところが、
なんぶ かつしよくひと じゆう もと
そのころ南部では褐色の人たちは自由を求めています…。



「ガラスの犬 ボーム童話集」
フランク・ボーム 作 津森優子 訳 坂口友佳子 絵
岩波書店 (K933ホーム)

ひとり るすばん やねうら いしょうぼこ で
一人で留守番をするマーサと、屋根裏の衣装箱から出てきた
とうぞく はなし けんきゆう しゅうちゅう
盗賊たちのお話、「屋根裏の盗賊」。研究に集中したい
まじゅつし お ばんけん おも
魔術師が人を追いはらうために番犬をおこうと思い、
ガラス職人にガラスの犬を作ってもらう「ガラスの犬」など、
へん しゅうろく
8編を収録しています。



「顔のない花嫁」
K.R.アレグザンダー 作 金原瑞人+小松かほ 訳
小学館 (K933アレ)

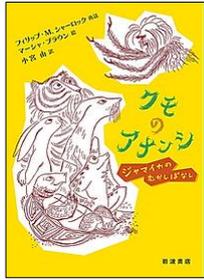
やしき とくい おとここ
おばけ屋敷をつくるのが得意な男の子、ケヴィン。
まち まいとひら ゆうしょう
町で毎年開かれるコンテストで優勝をねらいます。
じゅんび なか やしき しろ
準備をする中、ケヴィンは屋敷にあった白いドレスを
き はなよめ ひ
着た花嫁のマネキンをこわしてしまいます。その日から
ふしぎ つぎつぎ
ケヴィンのまわりで不思議なことが次々とおこって…



「ぼくの弱虫をなおすには」
K・L・ゴーン 作 久保陽子 訳 早川世詩男 絵
徳間書店 (K933コイ)

よねんせい
四年生のゲイブリエルには、こわいものがたくさんある。
こ じょうきゆうせい はし みち
クモ、いじめっ子の上級生、トラックが走るじゃり道…。
ごねんせい しんきゆう
でも、ぜったいにゆずれないのは、五年生に進級すること。
ごねんせい き しんゆう
五年生にはならないと決めただけ、親友のフリータは
だいはんたい さくせん おも
大反対。そこでフリータはある作戦を思いついて…？

[ちしき]



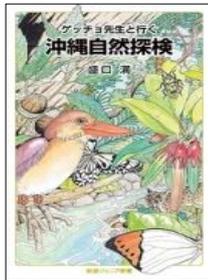
「クモのアナンシ ジャマイカのむかしばなし」
 フィリップ・M・シャ・ロック 再話 マーシャ・ブラウン 絵
 小宮由 訳 岩波書店 (昔話 K388)

アナンシは人間でもあり、クモでもあります。
 小さなクモですが、知恵をつかってヘビを
 つかまえようとしてたり、自分より強いトラなどの
 動物をだましたりします。カリブ海の島々で
 いまでも語られるアナンシのお話集です。



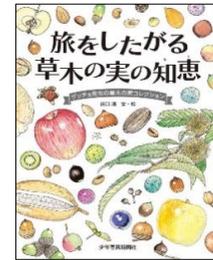
「はじめての哲学」
 藤田正勝 著
 岩波書店 (K100)

哲学は、わたしたちが日常の中で抱く問いの延長上に
 生まれてきたものです。「何のために生きるのか」
 そのように考える自分とは何なのか？
 「自己」「生と死」など、古代から現代まで人間が
 考え続けてきた問いを自らの力で考えてみましょう。



「ゲッチョ先生と行く 沖縄自然探検」
 盛口満 著 岩波書店 (K462)

博物学者ゲッチョ先生が、観光旅行とは
 ひと味ちがう沖縄を案内します。
 沖縄島、与那国島、石垣島、西表島、宮古島を
 中心として、それぞれの島の自然や生き物を
 紹介します。



「旅をしたがる草木の実の知恵」
 盛口満 文・絵 少年写真新聞社 (K471)

みなさんは、どんな果物が好きですか？
 草や木は自分で動くことができないので、種子を遠くに
 運んでまいてもらうために、おいしい実をつけて動物たち
 を引き寄せます。木の実、草の実と人との関わりや、
 草や木の実の知恵などをみていきましょう。



「火星は…」
 ズィンヌ・スレド 文 千葉茂樹 訳
 三河内岳 監修
 あすなろ書房 (K445)

太陽系の惑星のひとつである火星。
 さらさらの砂におおわれた表面、
 ごつごつした岩盤、地層に砂丘など、
 火星のすがたを見ることができます。



「てづくりおもしろおもちゃ」
 一かこさとしあそびの玉手箱—
 一かこさとし 著 小学館 (K750)

身の回りにあるものに、ちょっとした
 工夫をするだけで、愉快なおもちゃを
 自分でつくることができます。今も
 昔も変わらないあそびを、絵や説明を
 参考にしながらつくってあそびましょう。



「季節の草花あそび—秋—」
 ーパッと葉っぱが大へんしん！ー
 相澤悦子 著 汐文社 (K781)

カラスウリ、ノブドウ、ジュズダマなど、
 秋の草花をつかった「草花あそび」の作品
 と作り方を写真で紹介しています。
 ひとつひとつちがう植物で、オリジナルの
 作品を作ってみましょう。